

子どものための “ワンストップセンター”とは？

「すべての子どもを暴力から守る」という理念のもと、犯罪被害にあった子どもの支援をおこなっている「子ども支援センターつなぐ」。「子どものためのワンストップセンター」の取り組みや、司法面接やケースワーク、そして外国につながる子どもが虐待や性被害にあった場合の支援のあり方について、事例をふまえてお話します。

学校や学習支援教室など、地域の教育現場に携わる方々にとっても、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えるための、大切な視点や支援のヒントが得られる内容となっています。子どもたちの命と心を守るために、支援に関わる一人ひとりができることを考える時間にしていただければと思います。

2025年 11月17日 月 18:30から(18:15開場)

ハイブリッド開催(第一部のみ)

○第一部 18:30-19:30頃 活動紹介、ケースワーク・司法面接について(講義)

○第二部 19:30-20:00頃 会場にて質疑応答・意見交換

※当日の進行状況により、時間が変動する可能性がございます。

【定員】 オンライン80名(第一部のみ) / 対面30名

【対象】 外国人相談支援に関わる方 【参加】 無料

【会場】 あーすぷらざ1F大会議室(JR本郷台駅より徒歩3分) ※第一部のみZoomも併用

講師 認定NPO法人子ども支援センターつなぐ



飛田 桂(ひだ けい)

認定NPO法人子ども支援センターつなぐ代表理事。弁護士。司法面接者。
2014年に弁護士登録後、子どもの権利委員会などに所属。
深刻な児童虐待が全国で相次ぐ中、医師と弁護士らが行政の縦割り等を排除し、被害にあった子どものワンストップでの支援を目指し、NPO法人子ども支援センターつなぐを設立。子どもが直面している様々な問題に注力してきた。



清水 瞳(しみずひとみ)

認定NPO法人子ども支援センターつなぐ事務局。司法面接者。

▼お申込はこちら
(WEB予約制)



※内容変更や中止の場合はHPでお知らせします。また、中止の際は予約者へキャンセルメールをお送りします。